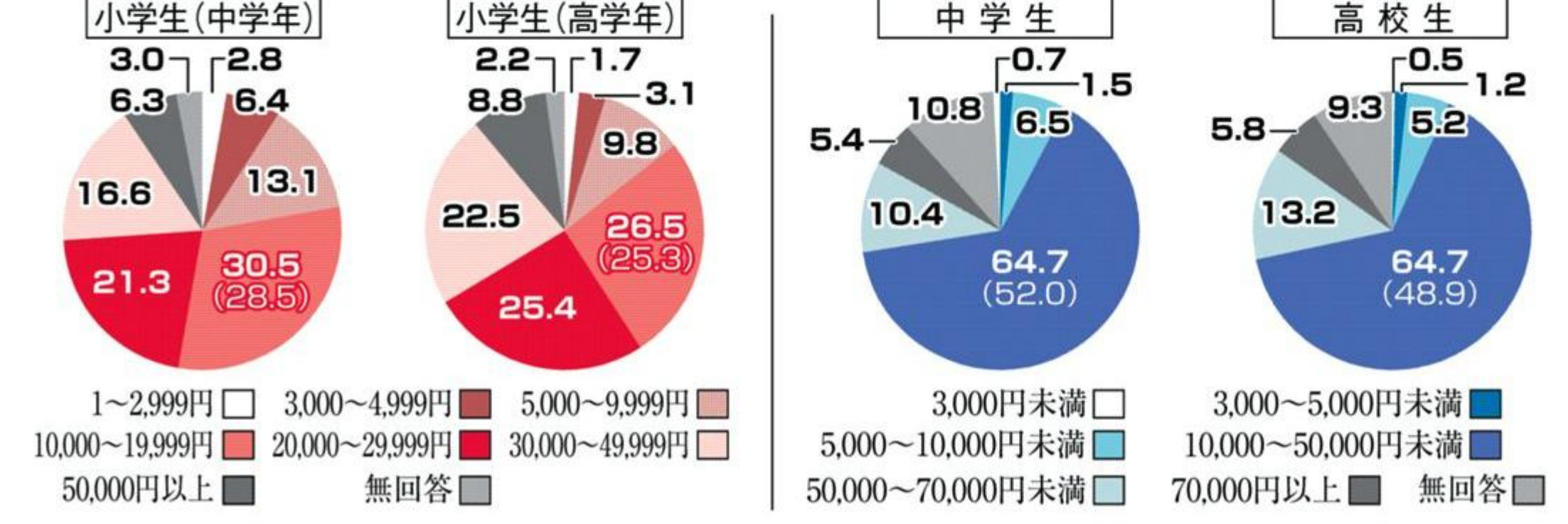


# 数字でみてみよう

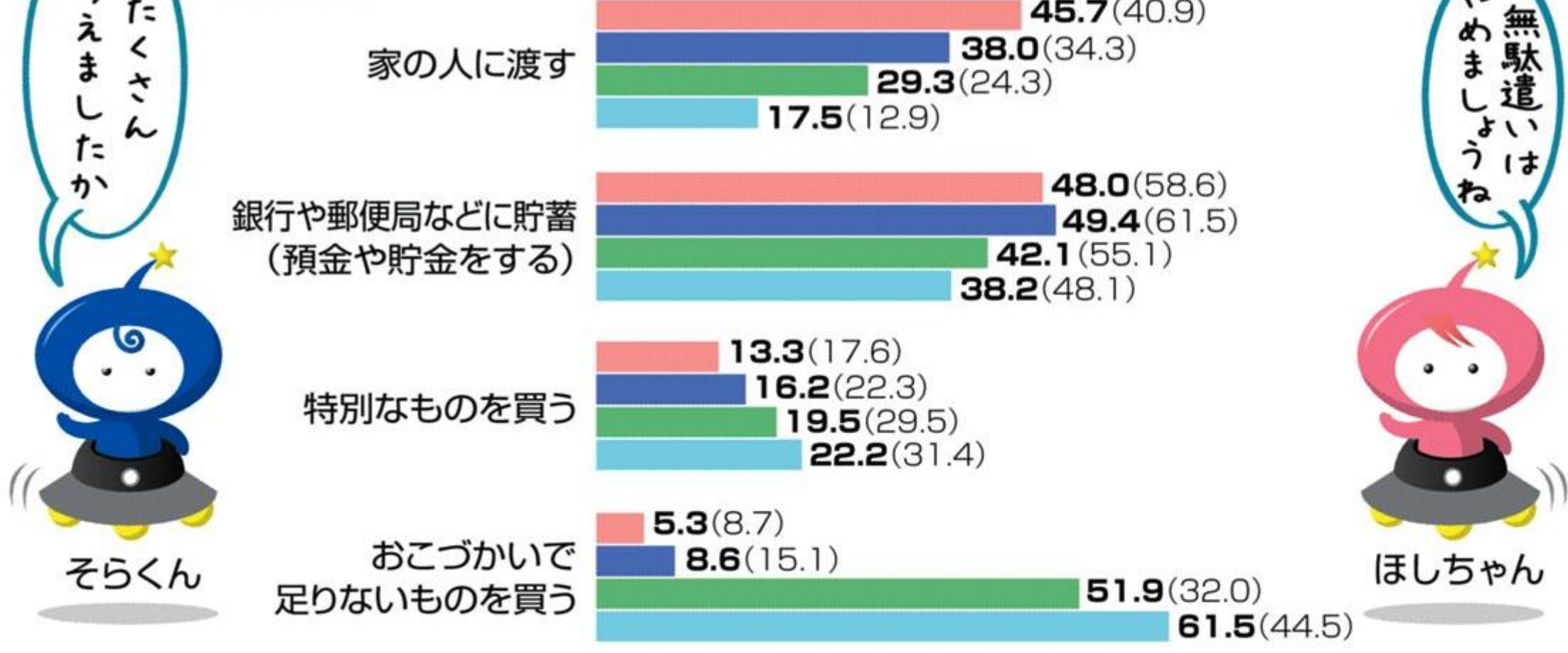
## 子供はお年玉 いくらくらいもらうの?

### 小・中・高校生に聞きました

#### ◎お年玉の総額



#### ◎お年玉の取扱い (複数回答)



※( )は前回調査(平成22年度)の結果。平成27年度金融広報中央委員会「子どものくらしとお金に関する調査」の概要

# 体動かす楽しさで体感して

「うわー、すごい！」  
 昨年12月8日午前、大東市立灰塚小学校の運動場。サッカーリーグ・ガンバ大阪アカデミー部のジュニアコーチ

昨年12月にスポーツ庁が発表した今年度の全国体力テストの結果で、大阪府内の小学生は男女とも8種類の体力合計点が全国平均を下回り、全都道府県の中で40位台と低迷した。府教育庁は、プロスポーツチームのコーチや大学教授ら専門家を小学校に派遣し、直接3、4年生を指導する取り組みを開始。テストを受ける5年生までの体力向上を目標としている。

(吉田智香)

## 体育授業に専門家を派遣



ガンバ大阪のコーチの指導を受ける児童ら  
—昨年12月8日、大阪府大東市の市立灰塚小学校

また、全国レベルの実績を誇る府立高校のダンス部の協力を得て考案した体操やダンスを、専門家が教える取り組みも実施。運動習慣を定着させる狙いがあり、各市町村1校を拠点校に指定し、周辺の小学校への普及を目指している。

府教育庁は、実践校での事例をまとめた冊子を小学校に配り、授業に活用してもらう方針。今年、各市町村で、児童を飽きさせない指導の研修会も開く。

が蹴ったボールが高々と弧を描き、数十メートル先で落ちると、児童からは歓声と驚きの声が上がった。

今年度から始まった「子供の体力づくりサポート事業」の一コマ。府内の18小学校を実践校に指定。ガンバ大阪のほか、ラグビーのNTTドコモレッドハリケーンズやフットサルのシュライカー大阪のコーチ、大阪体育大や武庫川女子大の教授らを送り込む。

きっかけは、振るわない体力テストの結果。例年、府内の小中学生の成績は下位にとどまり、運動やスポーツが「好き」「やや好き」の割合が低い。運動をする子供としていない子供の二極化も進んでいる。府教育庁の担当者は「体を動かす楽しさを体感して」と期待を込める。

この日、灰塚小を訪れたコ

ーちら3人は3、4年生の体育の授業を担当。児童らは、輪になってボールを落とさないように受け渡すゲームや、バトン代わりにボールを運ぶリレーに挑んだ。「どうしたらうまくできるか」を考えながら、やってみよう。コーナーにはやる気を引き出そうと合間に児童に声を掛ける。専門家による指導は、児童だけでなく教員にも影響を与えている。山本克校長は「ボールの蹴り方一つとっても体の使い方が違う。間近で見た子供たちは、スポーツへの関心を高める。教員にとっては指導方法を学ぶ機会となり、スキルアップになる」と話す。

## 大阪の小中学生 体力低迷